

コラム

編集・発行：金浦区自治会
発行日：2022. 1. 1

金浦自然との共生シリーズ⑫

文責：波多野 哲哉



「黒いチョウがとんでいた」と言っても、様々な種類がいます。金浦では7種類ほど見られると思います。さてそこで、「同じ黒いチョウ」を上にならべてみました。

ですが、実はこの中に1匹、蛾（ガ）がいます。どれでしょう？

答えは、下の列の真ん中の小さめの虫です。なんとなく感じでわかりましたか？

名前はアゲハモドキといいます。「もどき」「だまし」「にせ」などは、「本家本元」に対して「よくにている」という意味の言葉で、虫の名前にはよく使われます。

さて、このアゲハモドキの「もと」になっているチョウは右のジャコウアゲハ（メス）だと思われます。ではなぜこの「本家」に、似せようとしたのでしょうか？それはジャコウアゲハが「毒」を持っているからなのです。このチョウに似せたら鳥などの外敵から襲われない可能性が増すのでしょね。この二者の関係から「アゲハモドキはジャコウアゲハに擬態（ぎたい）している」といいます。自然界は自分の身を守るためにあの手この手で頑張り続ける宿命か……。ん？でもなぜ毒チョウとわかった？